

議員提案

美濃加茂市議会
第2回定例会議案

令和6年6月6日

目 次

議案番号	議 案 名	ページ
議第61号	永田徳男議員に対する辞職勧告決議案について	1

議第61号

永田徳男議員に対する辞職勧告決議案について

永田徳男議員に対する辞職勧告決議案を美濃加茂市議会会議規則（昭和51年美濃加茂市議会規則第1号）第14条第1項の規定により下記のとおり提出する。

令和6年6月6日提出

美濃加茂市議会議員 森 厚 夫
村瀬 正 樹

美濃加茂市議会議長 森 弓 子 様

記

令和6年4月3日 来市されたオーストラリアダボ市一行の歓迎2次会で、永田副議長が、カラオケマイクをダボ市長の娘さんの下腹部に近づけた件について言及する。

4月23日 この動画を見た当市の市長は、不適切な行動があったと判断し、相手方の市長に謝罪メールを送った。市が雇用する弁護士も同様の判断をされた。

5月9日 市議会全員協議会にて動画を確認し、全議員が不適切な行動と認め、議員辞職勧告決議を提出すべきと、大多数（14人中10人）の議員が意思表示した。議長がこの結果を本人に伝えたが、「副議長職は辞任するが、議員は続ける。」と表明した。

5月23日 議会運営委員会にて6月定例会にこの決議を提出することを協議したが、反対多数（6人中4人）で議会としての提出は見送られた。

この決定に納得のいかない議員を代表し、以下の主な理由で、議員辞職勧告決議を提出する。

- 1 遠路来訪されたダボ市長の娘さん、ご両親、並びにご一行の方々に与えた迷惑、不快感は極めて大きく、そのショックは測り知れない。
- 2 個人の軽率な行動により、美濃加茂市、市民、市議会に不名誉な傷を残すことになり、多くの市民から辞職すべきとの声が上がっている。
- 3 35年にわたる両市の親善友好関係に少なからず影響を与え、両国関係者の永年の努力を踏みにじることになった。
- 4 能登半島地震からの復興対応に迫られる被災地に、両方の議会事務局の制止にもかかわらず視察を強行し、3月21日、3月定例会で本会議場にて謝罪さ

れた。その2週間後の不適切な行動は弁解の余地がない。

市民の代弁者として二元代表制の一翼を担う市議会議員が、泥酔し、不適切な行動をし、国の内外も含め、多くの方々に混乱と迷惑をかけ、今なお尾を引いている。

このことは、市議会議員としての品格、良心が疑われ、市民の負託を裏切ることになり、市民の市議会に対する信用を著しく失墜させるものである。これ以上議員を続けることは、同じ市議会議員として看過できない。よって、即刻自ら議員の職を辞することを強く求めるものである。

以上、決議する。

70th  **th**

**MINOKAMO
STORY**